

「窯のある広場・資料館」リニューアル記念

大「名品」展

タイル・テラコッタ・古便器・土管のコレクション

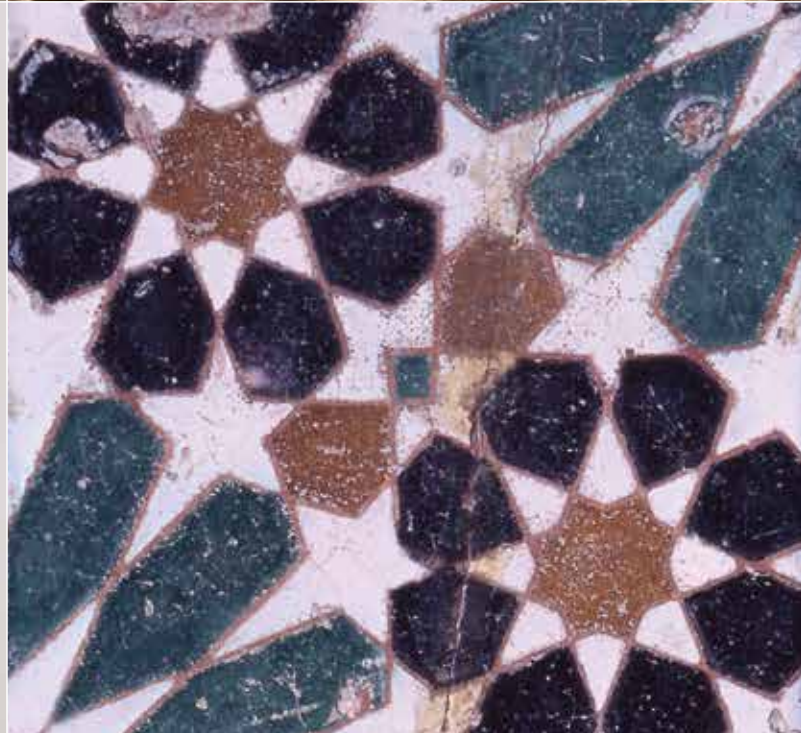
OBJET D'ART COLLECTION tiles, architectural terracotta, and assorted ceramic wares

October 5 2019 - March 31 2020

2019年10月5日(土) ▶ 2020年3月31日(火)

これぞ便器の名品!

テラコッタ、現代にはない職人技



登窯で焚いた、逸品の土管

タイルで世界一周

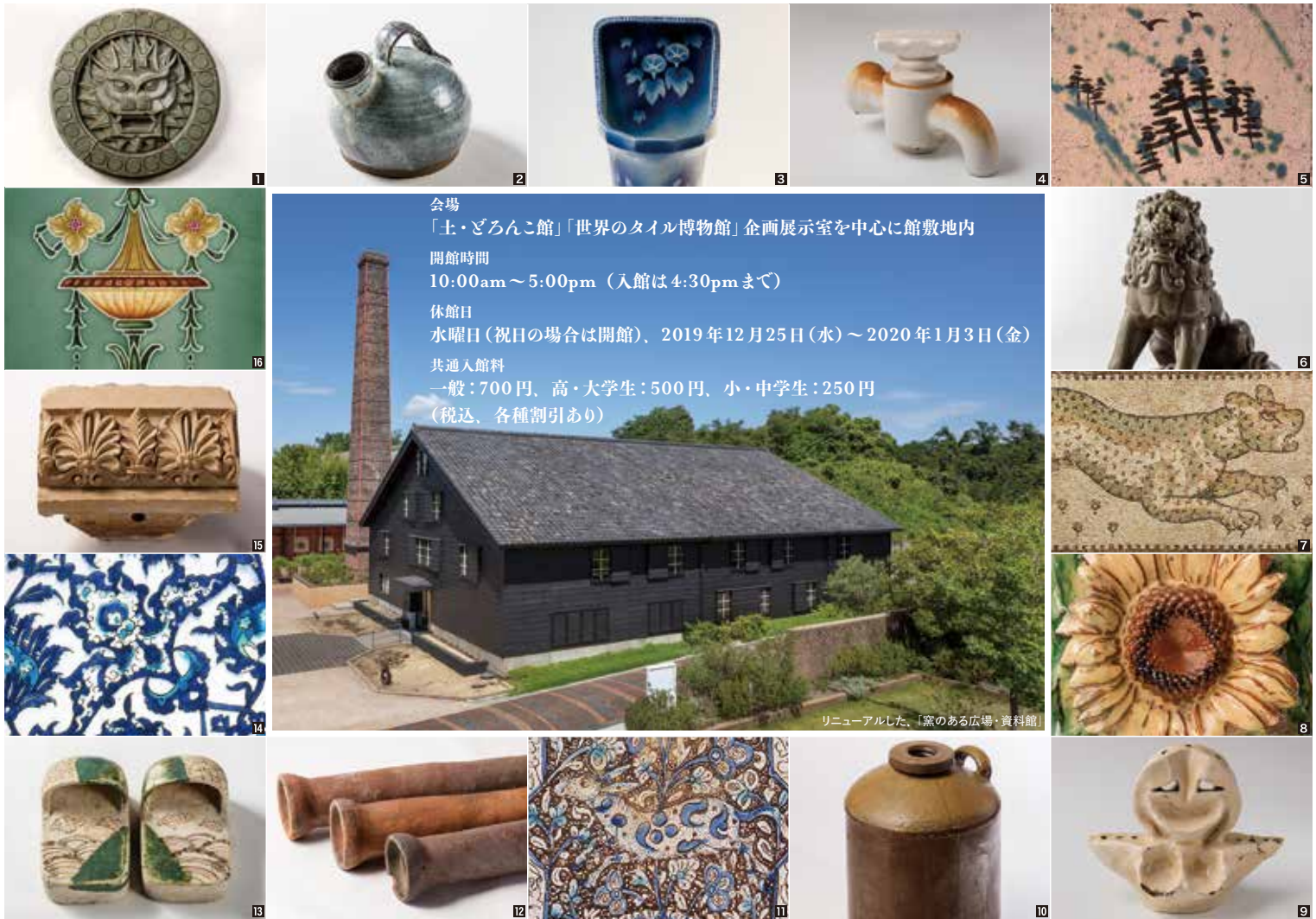
 INAX ライブミュージアム

INAXライブミュージアムはLIXILが運営する文化施設です。

主催：INAXライブミュージアム企画委員会

企画アドバイザー：竹多格(タイル研究家)

展示デザイン・会場グラフィック：中原崇志、早川大祐、永田耕平、丸古実 [DENBAK-FANO-DESIGN]



会場
「土・どろんこ館」「世界のタイル博物館」企画展示室を中心に館敷地内

開館時間
10:00am～5:00pm (入館は4:30pmまで)

休館日
水曜日(祝日の場合は開館)、2019年12月25日(水)～2020年1月3日(金)

共通入館料
一般:700円、高・大学生:500円、小・中学生:250円
(税込、各種割引あり)

リニューアルした、「窯のある広場・資料館」

INAXライブミュージアムは、「窯のある広場・資料館」からはじまりました。
大きな窯を内部に持つ土管工場は、常滑の歴史を物語るシンボルの一つです。後世に残したい思いから、改修1986年より一般に公開しています。これがコレクション第一号となりました。以来、世界各国の装飾タイルや建築装飾陶器・テラコッタ、古便器、土管などが集まり、収蔵品は広がっています。
このたび、近代のものづくりを象徴する文化財である「窯のある広場・資料館」の保全工事が終わり、リニューアルオープンいたします。これを機に、展示する機会が少ない稀有で貴重な「名品」を収蔵庫から出し、一堂に展覧いたします。
その多くは日本の美術史では登場しないものですが、人の暮らしや日本の近代化を支えた道具であり、さらには真摯なものづくりの心や暮らしを彩る気持ちが凝縮した「美」が宿っています。
稀有なコレクションをご覧いただくまととない機会となります。ものづくりと暮らしを彩ってきた、やきものの魅力を堪能ください。

関連イベント
講演会&館内ツアー
2019年11月23日(土・祝)
「私が選ぶ、INAXライブミュージアムの『名品』」 講師:森由美[陶磁研究家]
染付の大皿や鉢を見つけた専門家は、染付タイルや染付古便器のどこを見るか。見方、そして「名品」と判断するポイント、さらには膨大なコレクションを前に自分なりの楽しみ方をお話しいたします。
※詳細はHPをご確認ください。
もり・ゆみ 東京生まれ、東京藝術大学大学院美術研究科修了(保存科学専攻)、戸栗美術館学芸員、日本陶磁協会を経て、独立し執筆、講演、企画制作、テレビ番組「なんでも鑑定団」出演などで陶磁器や伝統文化の分野で多岐にわたり活躍。著書に『古伊万里 IMARI ジャパンロジャー・コレクション』(角川ソフィア文庫)、『古伊万里 蕎麦猪口・酒器1000』(講談社)ほか。



The inaugural INAX Museums collection is Kiln Plaza, featuring a black-walled earthenware pipe factory whose tall chimney and large interior kiln are symbols that have helped recount the history of Tokoname ware. The renovated and consolidated structure was opened to the public in 1986, with the hopes of passing along this heritage to future generations.
This history represents the beginnings of the INAX Museums collection, which has been continuing to expand ever since this time. This includes goods that have enriched peoples' lives such as decorative tiles from around the world, architectural terracotta, pottery toilets, and earthenware pipes, along with ceramic wares that have played an integral role in modern Japanese life.
Three years of maintenance work have taken place at Kiln Plaza, which is a cultural asset symbolizing modern *monozukuri*. On the occasion of its re-opening, we are pleased to host a consolidated, museum-wide exposition featuring precious objets d'art culled from our archives that have rarely been exhibited to date.
While many of these earthen wares do not feature within the catalogue of Japanese art history, they have been essential to peoples' lives and to the modernization of Japan. Herein, we find essential notions of beauty such as a sincere spirit of craftsmanship, as well as a desire to enliven the everyday.
This is a unique opportunity to view a rare collection, which includes items that offer a fascinating glimpse into peoples' lives and the innovations of manufacturing. We invite you to enter this alluring world, whose ceramic articles are as delicate as they are strong.

表面◎右上:テラコッタ、新橋演舞場、日本陶業、1925年/右下:白地多彩幾何文タイル、スペイン、15世紀、140×140cm/左上:向高形小便器 染付花と蝶図(牡丹と芭蕉)、「還情園池紋製」銘、瀬戸、明治時代後期、径32.2cm、高さ64.3cm/左下:金島山1尺5寸土管、常滑、19世紀末、内径48cm、長さ70cm
裏面◎1.テラコッタ、エゼキ旧本社ビル(獅子)/2.海鼠軸尿瓶/3.染付朝顔図朝顔形小便器/4.耐酸砒器製曲コック(大)/5.黄瀬戸絵付陶板/6.狛犬、沼田一雅/7.シリアモザイクタイル(虎)/8.タイル、エルカプリチョ、カウディ/9.陶彫マケット、顔、岡本太郎/10.硫酸瓶/11.ラスター彩獣文星形タイル/12.愛宕下遺跡出土の常滑産素焼土管/13.青織部廁下駄/14.多彩草花文タイル/15.テラコッタ、丸石ビルディング(旧太平洋ビル)/16.多彩草花文レリーフタイル/17.帝鑑図屏風「丹書受戒」、安土桃山時代

INAXライブミュージアムへのアクセス

バス
→名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より
知多バス「知多半田駅」行き
「INAXライブミュージアム前」下車
徒歩2分

お車(乗用車・バス駐車場完備)
→名鉄線「常滑駅」より約6分
→中部国際空港より約10分
(「りんくうIC」降りる)
→知多半田道路「半田IC」より約15分
→セントレアライン(名古屋方面から)
「常滑IC」より約7分

〒479-8586
愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL. 0569-34-8282
FAX. 0569-34-8283
<https://www.livingculture.lxil/ilm/>

